

第2学年 図画工作

第2学年の学習到達目標

- (1) 表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだす喜びを味わう。
- (2) 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせる。
- (3) かいたり、つくったりしたものなどを見ることに関心を持ち、その楽しさを味わう。

第2学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	ぼくわたしの かお	自分の顔の細かい部分をよく見て描く。	顔や目・鼻・口・耳の形に気をつけて描く。
	絵のぐあそび	絵の具道具を正しく使い、おもしろい模様をつくる。	絵の具をストローで吹いて模様をつくる。細い線や点、太い線や点を使って花火を描く。
	いっぱいゆめ いっぱい	こんなこと、あんなことがあったらいいなと思ったことを、絵にかく楽しさを味わう。 形や色を工夫して絵にする。	自分の「夢」を思い浮かべ、かいてみたい描画材や、使ってみたい材料を工夫して表す。
	わっ！すごい な	驚いたこと、ドキドキしたときのことを思い浮かべ、絵に表す。 どのようにかいたら自分の気持ちが伝わるか、形や色を工夫して表す。	自分のドキドキしたときの場面を思い浮かべる。自分の気持ちが伝わるように、中心になるものとまわりのことなど工夫して表す。
	これいいかん じ	材料の手触りや量感、形の変化などを、体で十分感じて味わいながらつくる。 身のまわりにある材料の特徴を生かして、自分なりに工夫してつくる。	丸めたり、シワシワにしたりして、紙の大きさや特徴を感じ、袋状にして、新聞紙を詰めてふくらませたり、丸めて量感をつけたりする。色画用紙の上に材料をうすくのばし、ひっかいたり、消したりしながら好きなことをかく。
	おはなしロボ ット	いろいろな大きさの箱や容器を集め、材料の面白さに気づく。 積んだり、並べたりして、つくりたいロボットの様子を発想する。	いろいろな大きさの箱や容器を楽しく集め、積んだり、並べたりして、どんなロボットをつくらうか思いをもつ。 思いついたことをもとに、工夫して表す。
	きょうかしょ びじゅつかん	自分が集めたものの思いに合った見せ方を考えて、工夫して表す。 できたもののよさや面白さなどについて話し合う。	自分の生活にまつわるものや、思い出のあるものを集め、並べたり、組み合わせたりして飾る。 できたものを友だちと見せ合って、そのよさや面白さなどを話し合う。
	どんどんでき るよ	切った紙をつないで道をつくり、思いをふくらませ、町をつくる。 つくった乗り物を走らせたり、話し合ったりして全身で活動を楽しむ。	ところどころに自分の思いに合ったものをつくりながら、楽しい町にする。 つくった乗り物を走らせたり、話し合ったりして楽しく活動する。
	かたおしかた ぬき	粘土の板をつくり、いろいろな道具を使って、型抜きや型押しを楽しむ。 型抜きや型押しをした形を組み合わせ、自分で想像し、作品にする。	いろいろな道具を使って、型抜きや型押しをやりを試してみる。 型抜きや型押しのできた形を並べたり、組み合わせたりして、何かの形を見立てて思いついたものをつくる。
後期	ひかりのおく りもの	光や影を使い、身のまわりの場所の特徴を生かしながら、その美しさや面白さを十分味わう。 だんボール紙などの材料を加工してつくり、自分の思いを広げる。	だんボール紙に穴をあけたり、変形させたりしてつくり、色セロハンを貼って、色を自分なりに構成する。 校庭などのいろいろな場所に写して、その美しさや変化を味わったり、窓に飾って、楽しんだりする。
	ざいりょうの へんしん	たわしや身のまわりの材料の形や、色に関心を持ち、生かそうとする。 材料を組み合わせたり、つけ足したりして、つくりたい生き物をつくる。	身のまわりからたわしや気に入った材料を集め、つくりたいものの感じが出るように接着する。 できたものに名前をつけたり、自然の中や身のまわりに飾ったりする。
	見て、見て、お はなし	物語やお話から思いをふくらませながら、絵に表す楽しさを味わう。 表したい場面への思いを、自分なりの表し方を見つけて、絵に表す。	物語やお話を聞いたり読んだりしながら、絵に表したい場面に合う画用紙の種類や形、かく材料を選び、思いを豊かにふくらませる。 色の使い方を工夫したり、形を切ったり貼ったりして、自分の表したい方法を考えて絵に表す。

後期	おしゃれなど うぶつ	粘土の様々な技法を生かして動物をつくる。 友だちの作品と組み合わせ、より楽しい場面をつくる。	粘土のつまみ出し、削りだし、つけ足しなどの技法を工夫して動物の形をつくる。 つくった動物を持ち寄って、組み合わせを工夫しながら、楽しく遊んでいる様子を表す。
	きってワクワク めくルルン	カッターナイフの正しい扱い方に慣れ、自分の表し方で表す。 窓のある家や住む人のことなどを想像しながら、つくることを楽しむ。	窓のある家を思い思いに想像し、つくりたい形を決める。 つくりたい形を、切り込みを入れたり、絵に表したりしてつくる。
	うっしてうっ して	紙版にしてみたいテーマを思い浮かべ、切ったり貼ったりして版づくりを楽しむ。 版をもとに刷り方を工夫して、気に入った紙版画をつくる。	どんなことを紙版に表すか考え、版の組み合わせ方などを工夫して表す。 インクの量、ローラーの使い方などを知り、刷りの楽しさを味わう。
	ピョコピョコ ストローマジ ック	動く仕組みから発想し、楽しんでつくる。 つくり方を工夫しながら、発想したものをつくる。	動く仕組みを生かして、楽しくなるよう工夫しながらつくり、楽しく遊ぶ。 材料や用具を準備し、全身的な活動が十分行えるようにする。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【造形への関心・意欲・態度】 表したいこと、つくりたいものを自分の表し方でつくりだすことやつくったものなどを見ることに関心を持ち、進んで造形表現活動を楽しもうとする。</p> <p>【発想や構想の能力】 感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見つけ、その思いをふくらませながら表したり、つくり方を考えたりする。</p> <p>【創造的な技能】 かいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。</p> <p>【鑑賞の能力】 かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さに気づき、楽しく見る。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>造形への関心・意欲・態度については、主に構想を練る段階での積極性、学習への取り組み時状況、完成作品などを評価します。</p> <p>発想や構想の能力については、主に制作前、制作途中、完成後の発想や構想を評価します。</p> <p>創造的な技能については、学習過程における感覚、技能の習熟状況、完成作品から評価します。</p> <p>鑑賞の能力については、主に、教科書作品や児童相互の作品を鑑賞し、おもしろさや工夫を見つけて楽しんでいるか評価します。</p>
--	--

特色ある学習方法

- (1) 材料とのかかわりを大事にしていきます。ゆっくりと材料とかがわる中からイメージが広がります。
- (2) かきたい、つくりたいという思いを大切にしていきます。思いが広がっていくような教材を用意したり、支援をしたりします。
- (3) 楽しく遊べるものをつくったり、動くおもちゃで遊んだりします。
- (4) さまざまな試行錯誤を体験させ、考えさせながらつくる喜びを実感させていきます。
- (5) お互いの作品を鑑賞し合い、よさを認め合います。鑑賞し合うことにより、造形感覚や判断力がさらに豊かに形成されていきます。

使用教材等

教科書 「図画工作 1・2下」(日本文教出版)
画用紙、色画用紙、色紙、絵の具、フェルトペン、クレヨン、粘土、はさみ、のり、その他生活用品
学習環境を整えるために教材セットを使用することもあります。

留意事項

- (1) 身近な材料(ビニール袋・新聞紙・箱など)を使用して造形活動を行います。学年だよりなどで事前にお知らせしますので準備をお願いします。
- (2) 子どもたちが持ち帰った作品にはそれぞれの思いが込められています。大切に保管してあげてください。